

## 平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ネクシィーズグループ  
 コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	11,818	15.5	1,657	35.7	1,875	55.5	1,221	84.0
28年9月期第3四半期	10,235	40.1	1,221	106.5	1,205	92.3	663	82.4

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 1,370百万円 (58.2%) 28年9月期第3四半期 866百万円 (82.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	98.88	92.11
28年9月期第3四半期	53.22	50.06

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	12,724	7,352	38.1
28年9月期	12,071	7,353	40.5

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 4,842百万円 28年9月期 4,887百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	5.00	—	10.00	15.00
29年9月期	—	10.00	—		
29年9月期(予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 期末の配当予想の修正につきましては、本日（平成29年8月7日）公表いたしました「配当予想の修正（創業30周年記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	17.3	2,000	16.5	2,200	28.1	1,400	15.2	113.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期3Q	13,413,640株	28年9月期	13,413,640株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	1,055,840株	28年9月期	1,067,620株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期3Q	12,351,998株	28年9月期3Q	12,470,464株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が進み、個人消費が総じて持ち直しの動きが続いており緩やかな回復基調で推移した一方で、米国の経済政策や新興国・資源国の経済動向には不確実性があり、先行きは依然不透明な状況となっております。GDP伸び率は、平成29年1月～3月に0.3%増となりました。消費者物価指数（生鮮食品除く）は、前年同月比△0.4%～0.4%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、LED照明等の設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の設備を導入できる「ネクシィーズ・ゼロシリーズ」（以下、「ネクシィーズ・ゼロ」）を中心に事業拡大を続けており、今後の更なる成長加速と新たな挑戦に取り組むことで企業価値の最大化を図っております。

当第3四半期連結累計期間においても、引き続き各提供サービスの新規顧客開拓と周辺領域への進出による収益力強化を図っております。特に「ネクシィーズ・ゼロ」において、LED照明以外の商材の取扱金額も増加傾向にあり、成長拡大が続いております。

これらの結果、売上高11,818百万円（前年同四半期比15.5%増）、営業利益1,657百万円（前年同四半期比35.7%増）、経常利益1,875百万円（前年同四半期比55.5%増）、となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,221百万円（前年同四半期比84.0%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、比較・分析は変更後のセグメント区分に基づき記載しております。

## [エネルギー環境関連事業]

エネルギー環境関連事業では、LED照明等の設備導入サービス「ネクシィーズ・ゼロ」の提供、利用者獲得業務及び販売、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き主力となる「ネクシィーズ・ゼロ」の提供に注力しております。同サービスでは、4月に新入社員の入社により営業人員を増員しており、人件費が増加しておりますが、インターンシップや教育体制の充実により、引き続き好調に推移しております。また、サービス開始当初より提供を続けているLED照明だけでなく、業務用冷蔵庫についても専属の営業部署を設けて営業強化しているほか、6月は夏に向けた空調の受注を増やすなど、他商材についても引き続き拡販に努めております。その他各種設備等の販売やインターネット接続サービスについても堅調に推移しております。

これらの結果、エネルギー環境関連事業は、売上高7,941百万円（前年同四半期比23.7%増）、セグメント利益2,073百万円（前年同四半期比46.0%増）となりました。

## [電子メディア事業]

電子メディア事業では、インターネットを主とした企業プロモーション支援を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き電子雑誌を始めとした、ECサポートやHP制作・運営、キャンペーンの企画・運営等の各種企業プロモーション支援に注力しております。また、3Dクレーンゲーム「神の手」の利用者数拡大に向けたプロモーション活動への先行投資を強化し、さらなる成長を目指しております。「電子雑誌」においては、海外個人旅行客向け電子雑誌の発行や、女性の資産運用を応援するライフスタイルマガジン「Ma R i c h e（マリッシュ）」を創刊するなど、制作受託案件が増加しております。また、「神の手」においては、店舗への来店促進につながる企業向け広告プランも新たに実施し、利用者数の増加と収益の拡大に努めており、広告宣伝費などの先行投資を続けております。

これらの結果、電子メディア事業は、売上高2,173百万円（前年同四半期比7.7%増）、セグメント利益174百万円（前年同四半期比46.8%減）となりました。

## [文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、様々な和文化を体感する「和の祭典2017」の開催、世界盆栽大会及び地域イベントへ参加し、認知度の向上や新規生徒の獲得に注力いたしました。そのほか、経営の効率化と費用の適正化にも引き続き努めております。

これらの結果、文化教育事業は売上高1,532百万円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント利益61百万円（前年同四半期比15.7%減）となりました。

## [その他事業]

その他事業には、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング業務、業務受託テレマーケティング、事務業務受託が含まれており、好調なエネルギー環境関連事業へ随時人員の異動を行っているものの、収益面では全体として概ね堅調に推移しております。

これらの結果、その他事業は売上高215百万円（前年同四半期比23.9%減）、セグメント利益73百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は12,724百万円となり、前連結会計年度末に比べて652百万円の増加となりました。

## ① 資産の状況

## (流動資産)

流動資産は9,617百万円となり、前連結会計年度末に比べて636百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金が901百万円減少した一方で、借入金の増加に伴い現金及び預金が1,000百万円、「ネクシーズ・ゼロ」が好調に推移したことに伴いリース債権が391百万円、ラインナップの拡充に伴い商品63百万円及び貯蔵品84百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (固定資産)

固定資産は3,106百万円となり、前連結会計年度末に比べて15百万円の増加となりました。これは主に、出資金の払い戻し及び株式の売却等により投資有価証券が114百万円減少した一方で、建設仮勘定が130百万円増加したことによるものであります。

## ② 負債の状況

## (流動負債)

流動負債は3,686百万円となり、前連結会計年度末に比べて389百万円の増加となりました。これは主に、解約調整引当金が100百万円減少した一方で、業容の拡大に伴い買掛金が213百万円、短期借入金が200百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (固定負債)

固定負債は1,685百万円となり、前連結会計年度末に比べて263百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を除く）が167百万円、長期リース債務が107百万円増加したことによるものであります。

## ③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は7,352百万円となり、前連結会計年度末に比べて著しい増減はありません。主な内訳は、四半期純利益の計上等により利益剰余金が787百万円、非支配株主持分が44百万円それぞれ増加したほか、保有株式の時価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が38百万円増加した一方で、子会社株式の追加取得等に伴い資本剰余金が595百万円減少したことや、自己株式の買付に伴い自己株式が275百万円増加したことによるものであります。

以上により流動比率は260.9%となり前連結会計年度末比11.5ポイント減少いたしました。

株主資本比率は38.1%となり前連結会計年度末比2.4ポイント減少いたしました。一方で、時価ベースの株主資本比率は196.8%となり前連結会計年度末比50.5ポイント増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の各事業の取り組み、業績予想につきましては、以下のとおりであります。

## [エネルギー環境関連事業]

エネルギー環境関連事業では、LED照明等の設備導入サービス「ネクシイズ・ゼロ」の提供、利用者獲得業務及び販売、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

同事業では引き続き、LED照明を中心に業務用冷蔵庫・空調・食洗機など設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の設備を導入できる「ネクシイズ・ゼロ」に注力してまいります。本サービスでは、認知度の向上と信頼性の浸透により、新規の受注が増加傾向にあります。そのため、引き続き効率的に営業活動が行える予定です。また、業務用冷蔵庫、空調、食洗機に加え、電力小売事業の準備も進めており、今後も新商材の導入を検討してまいります。

また、4月より人員を増員しており、受注が増加傾向にあります。そのほか、収益規模拡大に向けて、より大型の案件受注にも注力してまいります。

## [電子メディア事業]

電子メディア事業では、インターネットを主とした企業プロモーション支援を行っております。

電子雑誌については、営業人員の増員及び新たな電子雑誌の発行により、広告掲載クライアント数の増加を目指してまいります。電子雑誌の制作受託料については、既存案件の契約更新に加え、新たな電子雑誌を発行し、制作受託案件の増加を目指してまいります。

その他のインターネットを活用した販売促進支援業務については、既存案件の契約更新に加え、主に営業人員の増員により、新規クライアント数の増加を目指してまいります。また、3Dクレーンゲーム「神の手」については、広告宣伝等の大規模プロモーションによる先行投資を行っていく予定です。

## [文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売を行っております。

同事業では引き続き、きもの着付け教室等の日本の伝統文化に関する習い事への認知度や関心を高めるため、様々なイベントを企画してまいります。また、経営の効率化と費用の適正化に引き続き努めてまいります。

## [その他事業]

その他事業には、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング業務、業務受託テレマーケティング、事務業務受託が含まれており、全体として概ね堅調に推移する見込みです。

平成29年9月期通期連結業績見通し（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

売上高 16,500百万円  
営業利益 2,000百万円  
経常利益 2,200百万円  
親会社株主に帰属する当期純利益 1,400百万円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,631,622	4,632,309
受取手形及び売掛金	4,502,929	3,601,000
リース債権	44,799	436,753
商品	165,164	228,778
未収入金	311,250	296,974
繰延税金資産	191,543	126,094
その他	254,247	445,686
貸倒引当金	△121,040	△150,108
流動資産合計	8,980,516	9,617,489
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	121,162	104,715
その他(純額)	152,681	264,224
有形固定資産合計	273,843	368,939
無形固定資産		
のれん	132,842	121,580
その他	93,101	99,615
無形固定資産合計	225,944	221,195
投資その他の資産		
投資有価証券	1,387,773	1,272,788
敷金及び保証金	447,838	471,228
その他	832,922	847,997
貸倒引当金	△76,849	△75,610
投資その他の資産合計	2,591,684	2,516,404
固定資産合計	3,091,472	3,106,539
資産合計	12,071,988	12,724,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	741,183	954,696
短期借入金	500,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	242,760	362,760
未払金	498,520	468,295
未払法人税等	346,249	343,035
解約調整引当金	400,030	300,007
業績連動賞与引当金	200,000	175,637
その他	368,427	382,332
流動負債合計	3,297,171	3,686,765
固定負債		
長期借入金	1,335,860	1,503,100
その他	85,838	181,920
固定負債合計	1,421,698	1,685,020
負債合計	4,718,869	5,371,785
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,189,156	1,189,156
資本剰余金	861,963	266,222
利益剰余金	3,562,892	4,350,853
自己株式	△721,890	△997,773
株主資本合計	4,892,121	4,808,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,099	33,680
その他の包括利益累計額合計	△5,099	33,680
新株予約権	10,374	10,165
非支配株主持分	2,455,721	2,499,938
純資産合計	7,353,119	7,352,243
負債純資産合計	12,071,988	12,724,028



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,235,480	11,818,924
売上原価	6,174,098	5,979,354
売上総利益	4,061,381	5,839,569
販売費及び一般管理費	2,839,641	4,181,841
営業利益	1,221,739	1,657,727
営業外収益		
投資有価証券売却益	—	195,674
持分法による投資利益	15,050	10,168
その他	3,740	28,048
営業外収益合計	18,790	233,891
営業外費用		
支払利息	3,917	6,204
支払手数料	—	7,713
投資事業組合運用損	16,814	—
その他	13,837	2,554
営業外費用合計	34,569	16,472
経常利益	1,205,960	1,875,147
特別利益		
固定資産売却益	1,666	—
特別利益合計	1,666	—
税金等調整前四半期純利益	1,207,626	1,875,147
法人税、住民税及び事業税	190,240	501,247
法人税等調整額	163,203	42,086
法人税等合計	353,444	543,333
四半期純利益	854,182	1,331,813
非支配株主に帰属する四半期純利益	190,475	110,404
親会社株主に帰属する四半期純利益	663,707	1,221,408

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	854,182	1,331,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,400	38,779
その他の包括利益合計	12,400	38,779
四半期包括利益	866,583	1,370,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	676,107	1,260,188
非支配株主に係る四半期包括利益	190,475	110,404

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(売上原価、販売費及び一般管理費の区分)

当社は、エネルギー環境関連事業の経営組織体制変更に伴い、各部門の機能を見直した結果、従来売上原価に計上されていた費用の一部を販売費及び一般管理費として計上しております。

当該変更により、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の売上原価が954,127千円減少し、売上総利益が同額増加しております。また、販売費及び一般管理費が954,127千円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー 環境関連 事業	電子メディア 事業	文化教育 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,421,862	1,995,202	1,539,978	9,957,043	278,437	10,235,480	—	10,235,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	524	22,042	—	22,567	4,590	27,157	△27,157	—
計	6,422,387	2,017,244	1,539,978	9,979,610	283,028	10,262,638	△27,157	10,235,480
セグメント利益	1,419,971	328,565	72,929	1,821,466	73,548	1,895,014	△673,274	1,221,739

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング、業務受託テレマーケティング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△673,274千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー 環境関連 事業	電子メディア 事業	文化教育 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,940,512	2,131,800	1,532,053	11,604,366	214,557	11,818,924	—	11,818,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	903	41,233	—	42,136	900	43,036	△43,036	—
計	7,941,416	2,173,033	1,532,053	11,646,503	215,457	11,861,961	△43,036	11,818,924
セグメント利益	2,073,585	174,930	61,505	2,310,020	73,391	2,383,412	△725,684	1,657,727

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融商品仲介、DNA解析に基づく健康コンサルティング、業務受託テレマーケティング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△725,684千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、成長分野へ経営資源を集中してきたことに伴う収益構造の変化に対応するため、当社グループの事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「ライフアミニティ事業」「ソリューションサービス事業」「文化教育事業」から、「エネルギー環境関連事業」「電子メディア事業」「文化教育事業」「その他」に変更しております。

このため、前第3四半期連結累計期間のセグメント損益につきましても、変更後の区分方法により作成しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。